

B 広島市農業振興センター農業研修

この研修では、**定年後のセカンドライフ**としての就農・帰農や農業をしながら**田舎暮らしを楽しみたい方**、**半農半X**など年齢を問わず目指すライフスタイル等に応じて2つのコースから選択できます。
農地をお持ちの方はもちろん、農地をお持ちでない方でも研修を受けていただくことができ、農地をお持ちでない方には募集対象市町の中で農地のあっせんを行っています。

実践的な研修を受けたい！
計画的な収入を得たい！

①生産販売農家育成コース

- ・約40品目の野菜栽培に関する講義と実習
生産計画、は種・栽培管理、土壌管理、農機具の取扱い、鳥獣被害対策等
- ・出荷・販売技術に関する講義と実習
出荷調整、農業簿記、食品衛生、模擬販売等
- ・農産物直売所や生産販売農家の視察等

農業のいろはを学びたい！
生活を充実させたい！

②栽培技術基礎コース

- ・野菜栽培に関する講義と実習
は種・栽培管理、土壌管理、農機具の取扱い、鳥獣被害対策等
- ・出荷・販売技術に関する講義と実習
出荷調整、模擬販売等
- ・農産物直売所の視察等

農業
体験会

応募に悩まれている場合はぜひご参加ください

●全員対象 ※お申込み詳細はQRコード先へ



令和8年
10月10日(土)・20日(火)
11月 7日(土)・19日(木)
各日9:00~12:00

●“ひろしま活力農業”
経営者育成研修応募者のみ対象
※詳しい内容はお問い合わせください。
令和8年
12月5日(土)

申込方法

申込書1通を郵送・提出してください。

申込書配布場所：農業担い手育成課・広島市役所・各区役所・出張所・公民館・連携市町の市役所及び町役場等
ホームページ (<https://www.haff.city.hiroshima.jp/index.php>) からダウンロードできます。

●申込書について

- ・各研修コースの申込書に必要事項を記入してください。
- ・申込書に写真を貼ってください。
(写真はタテ4cm×ヨコ3cm、最近3か月以内に撮影した正面向き、脱帽、上半身のもので眼鏡を使用している人は眼鏡をかけたもの)
- ・申込書は、選考審査の対象や応募要件等の確認を行いますので、事実を丁寧に記入してください。

●提出先

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
公益財団法人広島市農林水産振興センター 農業担い手育成課

●申込受付期間

令和8年 9月1日(火)
— 11月30日(月) 必着

※広島市農業振興センター農業研修のみ、
定員に達しなかった場合、令和9年2月末を期限として
募集人数に達するまで追加募集を行います。

◀表紙のひと 松浦 健太さん(33才)

松浦さんは令和4年度に“ひろしま活力農業”経営者育成研修を修了し、
安佐北区白木町に就農しました。

お問合せ

〒739-1751
広島市安佐北区深川八丁目30番12号
公益財団法人広島市農林水産振興センター
農業担い手育成課

✉ ninaite@haff.city.hiroshima.jp

☎ (082)842-4421



令和9年度
農業研修生
募集!!

新規就農者100人超の実績があります

農業で
「広島」を
はじめよう。

自分らしい
人生設計を

- 専業・副業どちらでも選べる3つの研修コース
- 農業未経験者でもスムーズに就農できる体制
- 農地をお持ちの方も、お持ちでなくとも就農可能!!
- 広島広域都市圏 連携市町も対象!
- 研修費用は無料!! 就農後も営農に関するサポートを受けられます

未経験から
就農へ



研修について

目指す農業によって3つの研修からお選びいただけます

専業で農業を行いたい

副業で農業を行いたい

A “ひろしま活力農業” 経営者育成研修

B 広島市農業振興センター農業研修

- ・計画的な収入を得たい
- ・実践的な研修を受けたい
- ・生活を充実させたい
- ・農業の「いろは」を学びたい

新規就農パッケージ

①生産販売農家育成コース

②栽培技術基礎コース

研修内容	施設葉物野菜の生産を主とした農業経営者として独立するための栽培技術や肥料・農薬などの知識のほか、農業簿記や労務管理など経営に関する基礎知識の習得	直売向け多品目野菜の栽培、出荷・販売技術と経営に関する知識の習得	直売向け多品目野菜の栽培、出荷・販売技術の習得
応募要件	1 年齢は18歳以上、原則就農時45歳未満であること (昭和59年3月2日生まれから平成21年4月1日生まれまで) 2 研修修了後、広島市内のあっせんする農地に野菜専作(施設野菜)で就農すること 3 就農までに広島市に居住すること 4 就農後、就農地域と協調した関係を築き、地域活動に参画していく意思があること 5 申込書の確認事項に該当しないこと	1 募集対象市町に居住すること又は居住見込であること 2 募集対象市町に就農できる農地があること、又は新たに農地を借りて就農を目指すこと 3 研修修了後、募集対象市町に就農し、生産した農産物を直売所等を通じて消費者に供給すること、又は供給を目指すこと 4 就農後、就農地等を適切に管理するとともに、就農地域と協調した活動すること 5 申込書の確認事項に該当しないこと	
対象市町	広島市	広島市・竹原市・大竹市・廿日市市・安芸高田市・江田島市府中町・熊野町・安芸太田町・世羅町・山口県和木町※1 (ただし、安芸高田市・江田島市・府中町は、就農できる農地がある方のみを対象とします。)	
研修期間	令和9年4月～令和11年2月末	令和9年4月～令和10年3月末	
研修日 ※2	月曜日から金曜日 8:30～17:15	(週2回) 月曜日と金曜日 9:00～15:00 (7～9月中旬頃の期間は 6:30～12:00)	(週2回) 月曜日と水曜日 又は 水曜日と金曜日 9:00～12:00
募集人数	若干名	20名以内	月水コース、水金コースとも各10名以内※3
研修費用	無料(資格取得等の費用、実践研修での農機具費や雇用労賃等の自己負担あり)	無料(小農具費等の自己負担あり)	
選考	・1次選考(書類審査) 令和8年12月上旬 ・2次選考(面接審査) 令和8年12月19日(土)	書類審査 申込書により応募要件等を確認し、合格者が応募人数を超えた場合には、抽選により決定します。	

- ・研修施設の見学や研修、就農に関する相談は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。
- ・研修受講に当たっては、各自傷害保険等への加入をお願いします。

※1 本研修は広島広域都市圏における新規就農者育成事業の連携市町を対象としています。

※2 研修の内容によって変更する場合があります。

※3 コースごとの応募者に偏りが生じた場合、研修日の調整をさせていただく場合があります。

A “ひろしま活力農業”経営者育成研修

“ひろしま活力農業”経営者育成研修は、広島市が関係機関と連携して行っていることから、新規就農パッケージとして以下の体制を整えることができ、農業未経験者でもスムーズに就農することができます。

栽培技術の習得 / 就農地の確保 / 就農施設(パイプハウス等)の整備 / 就農後のサポート

平成9年にスタートして以降、現在54人の研修修了生が農業経営者として活躍中です。経営費で大きなウエイトを占めるパイプハウス等の就農施設は、台風等でも安心なしっかりした規格のものを広島市等の補助金を活用して当センターが整備します。その後、研修修了生に定額(100万円(税別)/年)で賃借(15年間)しますので、**経営費が大幅に削減**できます。また、研修では、こまつな等の施設葉物野菜を中心にピーマンやナスなどの果菜類等の栽培技術や肥料・農薬などの知識、農業簿記等、**就農に必要な基礎知識を身に付ける**ことができます。

さらに、**研修費用は無料**(資格取得等の費用、実践研修での農機具費や雇用労賃等の自己負担あり)としており、加えて研修期間中の補助金等の活用など「支援制度」も整っていますので、安心して研修に専念することができます。



●研修開始から新規就農までのスケジュール

	令和9年度	令和10年度	令和11年度
研修開始から就農まで	基礎研修(11か月)	実践研修(1年間)	令和11年3月1日～就農(独立)
就農地 就農施設	農地整備 パイプハウス等 施設整備	実践研修で使用	独立就農(賃貸借)

●支援制度について

円滑な新規就農に向け、以下の補助金等の支援制度が利用できます。(交付には条件があります。)詳細についてはお問い合わせください。

研修期間中	新規就農後
・研修修了後に農業経営者として自立すること等を条件に、研修を後押しする最大165万円/年の資金の交付を受けることができます。 (国の新規就農者育成総合対策事業「就農準備資金」を活用) ・実践研修中の収穫物は研修生の自由販売物としていますので、その売上金は研修期間中の経費や資金として活用できます。 ・研修中に「青年等就農計画」の作成を行い、市へ申請しますので、認定新規就農者になることができます。	・農業経営が安定するまでの最長3年間、165万円/年の資金の交付を受けることができます。 (国の新規就農者育成総合対策事業「経営開始資金」を活用) ・就農後の経営発展のために必要となる機械・施設に対する補助(補助上限あり)を受けることができます。 (国の新規就農者育成総合対策事業「経営発展支援事業」を活用)

●就農5年後の経営モデル(こまつな専作・施設栽培)

労働力 : 本人(2,000時間/年)、雇用労働力2人(1,860時間/年)
施設装備: パイプハウス30a(3,000㎡)、かん水施設、調整棟
保冷库(当センターが100万円(税別)/年・15年間で賃貸)
機械装備: トラクター、軽トラック、管理機、運搬車、動力噴霧器、袋詰め機、は種機等

生産規模	①生産量	②単価※1	③売上(①×②)	④経費※2	所得(③-④)
210a (30a×7回転)	42,000kg	322円/kg	13,524,000円	9,686,527円	3,837,473円

※1 広島中央卸売市場広島県産こまつなの過去5か年平均単価(円/kg)

※2 農地代の支払いを含む

